

## 平成27年度第1回番組審議委員会議事録

1 開催年月日 平成27年5月12日（火）

2 開催場所 CTY本社3階会議室

### 3 委員の出席

- ① 委員総数 9名
- ② 出席委員数 7名
- ③ 出席委員 小林慶太郎（四日市大学 教授）  
藤井博光（ライブハウス フルハウス 店主）  
吉水英人（（公財）四日市市文化まちづくり財団  
事業担当グループリーダー）  
出口 功（菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長）  
笹岡邦清（暁石齋株式会社 取締役）  
三輪栄子（四日市市消防団 サルビア分団 分団長）  
山中奨太（四日市大学 環境情報学部 学生）
- ④ 欠席委員 原真由美（民生委員）  
服部洋明（メガネの隆明堂 店主）
- ⑤ 放送事業者側出席者氏名 舘 克俊（放送制作部部長）  
藤田真理（放送制作部課長）  
山本浩之（放送制作部課長）

### 4 新年度からの新委員紹介

- 三輪栄子（四日市市消防団 サルビア分団 分団長）
- 山中（四日市大学 学生）

### 5 議題

| 審議番組 | 番組名  | “週刊よっかいちかふえ”内コーナー番組<br>地元探訪番組<br>“すずろありきよっかいち” |
|------|------|--|
|      | 放送日  | 平成27年4月10日（金）<br>平成27年5月 8日（金）                 |
|      | 放送時間 | 毎週金曜日 12:00～13:59<br>（上記の時間内の12:15頃より約7～8分間）   |

### 6 審議概要

エフエムよっかいち番組審議委員会 小林慶太郎委員長の挨拶に続き、弊社放送制作部部長、舘克俊より挨拶。新年度において、あらためて各委員に番組審議委員会へのご協力要請とお願い。各委員からのご了承を頂きました。また、

新年度も昨年同様に市民の方々に支持される良質な番組制作をしてゆくことを表明。その後、弊社放送制作部課長の山本浩之より審議番組の視聴・合評が行われました。

## 7 審議内容

委員長：番組視聴の前に番組概要の説明をお願いします。

会社：今回ご視聴いただく番組は、2014.2からスタートしたコーナー番組で、毎週金曜日・昼の生番組“週刊よっかいちかふえ”内で放送されています。知っているようで以外と知らない地元・四日市について、普段はつい見過ごされがちな“物・人・事”についてこだわり、スタジオを飛び出し直接現地で取材・収録をした音源を基に地元情報をお伝えする番組です。

“すずろありき”とは“そぞろあるき”の意（古い言い回し）で、この番組を聞いて四日市の街中にぶらりと散歩して、自分の町を歩く早さで見つめてみませんか、との想いが込められています。

|      |      |   |
|------|------|---|
| 番組聴取 | 番組名  | “週刊よっかいちかふえ”内コーナー番組<br>地元探訪番組<br>“すずろありきよっかいち”            |
|      | 放送日  | 平成27年4月10日（金）<br>平成27年5月8日（金）                             |
|      | 放送時間 | 12：00～13：59<br>（上記の時間内の12：15頃より約7～8分間）                    |
|      | その他  | 今回は第1弾として四日市市の旧町名シリーズなのですが、今後は第2弾、第3弾として新たなテーマで続けて行く予定です。 |

委員長：みなさんのご意見ををお願いします。

委員：四日市市の旧町名の紹介、昔と現在の町並みの対比という主旨はわかるのですが、旧町名を言うだけではラジオなので少しわかりづらい。できれば旧町名の漢字はどういう文字なのかを言ってもらってもっとわかりやすかったと思います。

委員：テレビのように映像があるわけではないので、今どこにいて、取材・収録しているのかがとてもわかりづらい。

委員：収録の際に旧町名だけでなく、現在の町名も言ってもらってはいるのですが、それでも地元でなければわからない人が結構いるのでは？もっと誰もが知っているような目印を言ってくれとありがたい。

委員：収録音源に行くまでにコーナー番組冒頭で、もっときちんと今回どこの地域（町名）を紹介するのかを具体的に説明するともっと良くなる

と思います。

委員：旧町名シリーズということで随分昔のことを取り上げていますが、このコーナー番組のターゲットはどのくらいの年齢層を設定しているのですか。

委員：まさに“温故知新”のコーナー番組ですね。由来と歴史のある旧町名があったことを風化させないためにも、紹介することに意義があると思います。

委員：街中をぶらり散歩だったら「四日市市内の“〇〇通り”を歩く」のようなレポート番組でも良いと思います。

委員：内容的にあまりにコアでピンポイントな事項を扱っているので、一般の人にはあまり興味がないかも知れません。

委員：四日市市の蘊蓄ということなら、町名・地名の由来シリーズがあっても良いと思います。

委員：ただぶらぶらして、現場を実況しただけの感が否めない。もっとその場所に対しての蘊蓄があったら、リスナーにとってこの番組を聞く事でのベネフィット感があるのではないですか。

委員：四日市市内の各町でもっている伝統芸能や文化（例えば練りや山車など）について掘り下げて紹介して欲しい。

委員：四日市を語る会などのボランティア団体とリンクして、過去について、現在について、もっと具体性のある確かな情報を入れてゆくと、今より質の高い番組になるのではないのでしょうか。

委員：四日市市は地理上の観点から言うと港町でありながら、市民はあまり港町の感覚がないと思います。第2弾、第3弾の際にはもっと港町を取り上げて欲しいです。

委員：せっかくぶらり散歩に出かけて欲しいというコンセプトがあるのだから、例えば安全に歩ける場所を紹介するとか、モデルお散歩コースなどのプレゼンを試みてはどうか。

委員：四日市市は江戸時代の東海道の43番目の宿場町として栄えた街です。最近はハイキングの方々もとても多いようですが、一度番組で東海道を歩くなんていうコーナー番組はどうでしょうか。桑名の七里の渡しから四日市の杖突峠までをレポートするのはどうですか。

委員：ラジオで全てを上手く紹介するのはとても難しいと思います。その中で敢えてラジオでそれをやってしまうことは驚きです。企画としては面白いと思いますし、“温故知新”は大事なことと思います。

委員：番組のクオリティとしてはまだまだです。ですが企画としては面白いのでちょっと惜しい感じです。もう少し内容を精査して、聞く人にわかりやすい内容になれば、とても面白いと思います。

委員長：委員からの意見にもあったようにもう少し具体的に“どこ”のことを紹介しているのかがちゃんとイメージできるような伝え方を工夫する必要があると思います。そうした上で旧町名の由来や歴史、現在はそ

の街はどうなっているのかを蘊蓄を交えながら、きちんとわかりやすく伝えることが出来れば、もっとクオリティの高いコーナー番組になるのではないのでしょうか。これからも知っているようで知らない地元・四日市のことをたくさん紹介して欲しいと思います。

会社：貴重なご意見をたくさんありがとうございました。まだまだご意見が  
あろうかとは思いますが。また、ご意見やご感想などがございましたら  
その都度、ご教授いただきたく存じます。今日は1時間半にわたり議  
論を頂き、ありがとうございました。

次回開催日 平成27年7月3日（金）16：30～（予定）

8 審議会の答申などに対してとった処置

9 記事の公示

エフエムよっかいちホームページにて公示